

## 恵仁会 通信 (戮力共心) vol.30

発行所：医療法人社団 恵仁会 きらら歯科クリニック  
〒901-0244 沖縄県豊見城市宜保 370  
TEL098-840-5557 FAX098-840-5558



こんにちは！台風の当たり年になりそうな沖縄からです。  
今回は歯科用レントゲンについてのお話です。

レントゲンはエックス線を利用し見えないところを見えるようにする、  
歯科治療には欠かせない装置です。

顎（あご）全体を写すパノラマエックス線写真では全体像を観察します。

そしてさらに歯の精密な診断が必要な場合、小さいデンタルエックス線写真撮影を行うこと  
もあります。

レントゲン撮影によって得られる情報は多岐にわたっており、特に歯と歯の間の虫歯や、  
歯を支える骨の状態などはレントゲン無しでは見る事が出来ません。

とはいえ、レントゲン撮影時、人体は放射線にさらされるため、その被曝が心配なところ  
だと思います。

放射線の測定には最近よく耳にする、Sv（シーベルト）という単位を用います。

私たちは日常生活を送る中でも自然に放射線に年間で2.4Sv被曝しています(世界平均)。

東京からニューヨークまで飛行機で1往復した場合、0.19mSv あびる事になります。

胸部 X 線 CT 1 回で 6.9mSv

頭部 X 線 CT 1 回で 2.0mSv

胃の X 線検診 1 回で 0.6mSv

胸の X 線検診 1 回で 0.05mSv

対して歯科レントゲンですが、パノラマエックス線写真で約 0.04mSv、小さいデンタルエ  
ックス線写真で 0.016~0.039mSv です。

一般に、100mSv が健康被害が出始める被曝量なので、歯科用レントゲンでの被ばくは、  
ほぼ問題ないと思われれます。さらに、鉛入りのエプロンで防御しますので実質の被曝量は  
さらに減ります。

なお、当院ではデジタルレントゲン（フィルムを使用せずセンサーのようなものに X 線の  
情報を記憶させスキャンすることによりデジタル画像データとして保存し、コンピュータ  
上で観覧する方法のレントゲン）を使用しております。

通常のレントゲンの 1/5~1/10 の放射線量で撮影できるのでさらに安心です。

